

(別紙4(2))  
**目標達成計画**

事業所名：グループホーム聖心園

作成日：平成24年4月8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	法人で実施されている学生の介護実習の受入れをグループホームでも受入れたらよいのではないか	介護実習を受入れる事で認知症に対する理解が得られる	今後介護実習の要請があれば当グループホームは対応することができる。また小学生や中高校生のボランティアスクールでの実習を受入れる機会を持ち、子どもたちとの関わりの中で和やかな時間を過ごすことができるよう取り組みを行う。	12ヶ月
2	12	看取りについての研修会また看取りについての御家族に意思を確認する機会をもつ	看取りの研修を行うことで、安らかに安心したケアを提供できる。また御家族と看取りに対する思いの確認を行うことで協力しながらケアを提供できる	看取りについて研修を行い、職員のケアの資質の向上を目指し、利用者の方々やすらぎや安心感を提供する。日々の生活の中で利用者の思いをくみ取り、また御家族の思いもうかがう機会をもちケアを行う。	12ヶ月
3	13	避難訓練を実施する場合近隣の方に知らせることや自然災害についての備蓄の確認を行うこと、ホーム内の安全チェック表の記録することにより確認し安全に対する意識付けを行う必要がある。	月1回行っている避難訓練を近隣の方に知らせることで防災に対する意識付けができる。備蓄の確認と安全チェック表の記録を行う	近隣の方々に対して避難訓練を行うことをお知らせすることで防災に対する取り組みを理解していただく。また、地域の協力を得ることができるように馴染みの関係作りをする。災害にたいして備蓄は確認できた。安全チェック表は毎月確認し記録する。	12ヶ月
4	15	現在利用者の方と同じ食事を摂っていないので1名でも同じ食事をしたほうがよいのではないか、また昼食も汁物を添えた方がのど越しもよいのではないか	同じ食事を摂ることで食の楽しみや話題作りができる	外部評価での結果を本体に報告し、同じ食事を摂ることが出来ないか検討して頂く。当ホームは手作りのおやつ作りを行っているので一緒に作り出来上がりを一緒に食べながら過ごすことも大切にしている。	12ヶ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。